

Adadö 語の文法

フクロウナギ

2025 年 2 月 17 日

目次

1	音韻	4
1.1	音素	4
1.2	音素と表記の関係	5
1.3	異音	5
1.4	音節	6
1.5	発音規則	7
1.6	アクセント	7
2	品詞	8
2.1	各品詞の役割	8
2.2	名詞	11
2.3	動詞	11
2.4	その他の品詞	11
3	単文の構造	12
3.1	名詞文	12
3.2	動詞文	12
4	名詞の構造	13
4.1	名詞類別接辞	13
4.2	場所名詞	13
4.3	複合名詞	13

5	名詞句の構造	14
5.1	定性	14
5.2	数	14
5.3	格	14
6	動詞の構造	15
6.1	複合動詞	15
6.2	複数	15
6.3	名詞の動詞化	15
7	動詞句の構造	16
7.1	時制/相	16
7.2	法	16
7.3	態	16
7.4	数	16
8	節の構造	17
9	複文の構造	18
	Adadö 語辞典	19
	Adadö 語例文集	21

1 音韻

この章では、Adadö 語の音韻と表記について説明する。

1.1 音素

1.1.1 子音

Adadö 語は以下の 8 の子音音素を持つ。

表 1 Adadö 語の子音音素

	両唇音	歯茎音	軟口蓋音
鼻音		n	
破裂音	p	t/d	k
摩擦音	β	s	ɣ

1.1.2 母音

Adadö 語は以下の 12 の母音音素を持つ。

表 2 Adadö 語の母音音素

	前舌	中舌	後舌	
			非円唇	円唇
広母音	ɛ		ɑ	ɔ
	e	ə	ɤ	o
	ɪ			ʊ
狭母音	i		uɪ	u

1.2 音素と表記の関係

Adadö 語では表記に音素と一対一対応したラテンアルファベットが用いられる。ここでは、Adadö 語の音素と表記の対応を記す。

表 3 Adadö 語の表記

表記	音素	表記	音素	表記	音素	表記	音素
a	/a/	g	/ɣ/	n	/n/	s	/s/
d	/d/	i	/ɪ/	o	/ɔ/	t	/t/
e	/ɛ/	í	/i/	ó	/o/	u	/u/
é	/e/	ï	/ɯ/	ö	/ə/	ú	/u/
ë	/ʁ/	k	/k/	p	/p/	v	/β/

ここからの本文では、音素とそれを表記するラテンアルファベットを同一視する。

1.3 異音

ここでは、Adadö 語の異音についてまとめる。

以下の表は Adadö 語の子音の異音の範囲をまとめたものである。

表 4 子音音素の異音

p	[p ^h]～[p]
v	[b]～[β]
n	[n]
t	[t ^h]～[t] ～[tʃ ^h]～[tʃ]
d	[dʰ]～[ɾ] ～[dʒ]～[ʒ]
s	[s]～[ʃ]
k	[k ^h]～[k]
g	[g]～[ɣ]

多くの子音は語頭と語中で発音が異なる。

破裂音 (p,t,k) は語頭では有気音 ([p^h],[t^h],[k^h])、語中では無気音 ([p],[t],[k]) として発音される。

摩擦音 (v,g) は語頭では有声破裂音 ([b],[g])、語中では有声摩擦音 ([β],[ɣ]) で発音される。

d は語頭では入破音 ([dʰ])、語中では流音 ([ɾ]) で発音される。

patapa	[p ^h atapa]	樹木の一種
gögë	[gəɣɣ]	はしご
didiapa	[dʰurɯapa]	樹木の一種

歯茎音 (t,d,s) は前舌母音 (e,é,i,i) の前では口蓋化 ([tʃ],[dʒ]～[ʒ],[ʃ]) して発音される。

dövö-dövö	[dʰəβərəβə]	水
dividivi	[dʒɪβɪʒɪβɪ]	祖母

1.4 音節

Adadö 語の音節は最も複雑なもので CV(C=子音,V=母音) の構造を持つ。

1.5 発音規則

■母音の融合

複合語内で母音が連続したときは融合して緊張した母音 1 つに変化する。

表 5 母音連続の音変化

母音連続	変化後の母音	母音連続	変化後の母音
ia	e	ua	o
ië	é	uë	ó
iï	í	uĩ	ú

@@@ @@@ 母音変化の例

1.6 アクセント

1.6.1 語のアクセント

1.6.2 句のアクセント

1.6.3 節のアクセント

1.6.4 疑問文のアクセント

2 品詞

この章では、Adadö 語の品詞について説明する。

ここでは Adadö 語の品詞を以下の 5 つに分類する。

- 名詞
- 動詞
- 形容詞
- 副詞
- 接統詞

これらの用語は語の文中での使われかたを分類したものではなく、1 つの語が 1 つの品詞に分類することはできない。しかし、本文中ではある品詞で使われることの多い語のグループを便宜上その品詞名で呼ぶ。

2.1 各品詞の役割

前述したように、Adadö 語の語の文中での役割はいくつかの種類に分類できる。

ここでは、Adadö 語における品詞の役割の違いを概説し、さらに語ごとの細かい用法の違いについても補足する。

■名詞

名詞は単独で名詞句を構成できる。

また、単独の名詞は後述するコピュラ "iï" を伴うことで、文の述部となることができる。この、文の述部となった名詞は形容詞を受け入れないなどの文中のふるまいから動詞句として扱う。

語の分類としては、名詞としての用法が多い語の集合も名詞と呼ぶ。

- (1) kĩa iï pövusu du.
三人称 コピュラ 幽霊 主題
それは霊だった。

■動詞

動詞はコピュラを伴わずに動詞句の主要部となることができる。動詞が述語となる際には接辞または代名詞で人称を表示する必要がある。

動詞としての用法が多い語の集合も動詞と呼ぶ。

- (2) na-dī-dö du pönënö n-ai-é
二人称-女-人 主題 サゴヤシ 二人称-置く-下へ

- (3) * na-dī-dö du pönënö ai-é
二人称-女-人 主題 サゴヤシ 二人称-置く-下へ

あなたの妻はサゴヤシを置いた

■形容詞

形容詞は単独で名詞を後置修飾することができる。

また、コピュラを伴うことで動詞句として文の述語になることができる。

語の分類として形容詞を用いる場合、形容詞としての用法のみを持ち、名詞としての用法を持たない語の集合を指す。

- (4) dövdövö kava tösö
水 おいしい
おいしい水

■副詞

副詞は単独で動詞を後置修飾することができる。

語の分類として副詞を用いる場合、副詞としての用法のみを持ち、動詞としての用法を持たない語の集合を指す。

- (5) @@@
@@@
@@@

■接続詞

接続詞は2つの句や節の間に入って、新しい句や節を生成する。本文では2つの句を接続するものを特に助詞と呼ぶこともある。コピュラ"i"も接続詞の1つである。

基本的に、接続詞の用法がある語に他の品詞の用法があることはない。接続詞の用法がある語の集合を接続詞と呼ぶことができる。

- (6) @@@
@@@
@@@

これら五つの品詞に分類される語が文中でどのような品詞の用法を持つかについて、表にまとめた。

表6 各品詞の用法

	名詞	形容詞	動詞	副詞	接続詞
名詞用法	○	×	×	×	×
形容詞用法	○	○	×	×	×
動詞用法	△	×	○	×	×
副詞用法	△	△	△	○	×
接続詞用法	×	×	×	×	○

2.1.1 名詞と動詞を兼ねる語

一部の語は形態を変えずに名詞としての役割と動詞としての役割を果たすことができる。

- (7) @@@
@@@
@@@

2.2 名詞

名詞には物体を表す語の多くが含まれる。

2.2.1 自立名詞/従属名詞

2.3 動詞

2.3.1 自動詞/他動詞

2.3.2 動詞の名詞化

2.4 その他の品詞

2.4.1 形容詞

2.4.2 副詞

2.4.3 接続詞

3 単文の構造

3.1 名詞文

3.2 動詞文

4 名詞の構造

4.1 名詞類別接辞

4.1.1 名詞-接辞（名詞類別の変更）

4.1.2 動詞-接辞（動詞の名詞化）

4.2 場所名詞

4.3 複合名詞

4.3.1 名詞-名詞

4.3.2 動詞-名詞

4.3.3 形容詞-名詞

5 名詞句の構造

5.1 定性

5.2 数

5.3 格

5.3.1 移動 1

5.3.2 移動 2

5.3.3 具格

6 動詞の構造

6.1 複合動詞

6.1.1 他動詞-自動詞

6.1.2 名詞-自動詞

6.2 複数

6.3 名詞の動詞化

6.3.1 動詞化接辞

7 動詞句の構造

7.1 時制/相

7.2 法

7.3 態

7.4 数

8 節の構造

9 複文の構造

Adadö 語辞典

tësötö
test

Adadö 語例文集

- (1) pav-akö ki g-iis-iisi atu
豚 ～を 三人称-食べる-畳語 強調
彼らは豚しか食べない
- (2) kī-dö du dī-dö ī pövö g-age a
男 主題 女 ～の もの 三人称-取る 完了
男は女のを奪った
- (3) na-dī-dö du pönönö n-ai-é
二人称-女-人 主題 サゴヤシ 二人称-置く-下へ
あなたの妻はサゴヤシを置く
- (4) dē ivö-ka g-ai-é a
家 口-場所 三人称-置く-下に 完了
彼はそれを玄関に置いた
- (5) iupisu-didī-apa nö du tidú p-iis-iisi du
オウム-姉妹-クラス 3 2 つ 主題 話を 一人称-話す-畳語 完了
あの二羽のオウムの姉妹が話していた。
- (6) tidú kö-kisi-kisi nö du anö
考え 三人称-見る/考える-畳語 二つ 主題 これ
これが彼ら二人の考えだ。
- (7) dē-dē-ka ad-adö du pö-kene-kene kisi
家-家-場所 人-人 主題 一人称-聞く-畳語 ～らしい
この村の人々は聞いだろう。
- (8) kī-dö du dī-dö tunup-odö pövö g-ai-dí a
男 主題 女 弟妹 それ 三人称-置く-相手に 完了
彼はそれをガールフレンドの弟妹にあげた。
- (9) sokei p-iis-iisi kuu pöpö
歌 一人称-話す-畳語 ～の事 音
私たちの歌の音

- (10) ki p-iisi ada atu
～を 一人称-食べる 少し 強調
軽食を取ろう